

帝塚山学院大学_合否判定の方法や基準について

	採点基準	合否判定基準
総合型選抜(AO入試)	入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価するため2025年度の総合型選抜は、4つの型による形式を選択できる選抜としそれぞれの形式による採点、面接、調査書による総合的な評価を行う。採点基準は以下のとおりである。 【学力重視型】 ・実践的な能力や知識の活用力、本学アドミッション・ポリシーに沿う将来性を評価する。 ・面接試験や調査書から学びへの意欲や関心を多面的に評価。 【オープンキャンパス体験型】 ・オープンキャンパス参加によるレポート作成を課し、論理的思考力や表現力等を測る。 ・面接試験や調査書から学びへの意欲や関心を多面的に評価。 【課題探究型】 ・学問領域を絡めたテーマをもとにレポート作成を課し、情報収集力と論理的思考力を測る。 ・面接試験や調査書から学びへの意欲や関心を多面的に評価。 【プレゼンテーション型】 ・プレゼンテーションを通じてその取り組みに対するプロセスを重視。本学アドミッション・ポリシーに沿う将来性を評価する。 ・面接試験や調査書から学びへの意欲や関心を多面的に評価。	各選択形式による配点40点及び調査書10点、面接試験50点の合計点100点満点。上位から順位付けを行い合否判定を行っている。
学校推薦型選抜	大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、適切に評価できるよう、以下のとおり実施している。 【公募制入試】 基礎学力検査及び書類審査により判定をする。大学教育における適性ならびに学びへの意欲や関心などを総合的に評価する。	標準の判定として基礎学力検査200点、調査書20点の合計220点満点で上位から順位付けを行い合否判定を行っている。また、標準型判定に加え高得点型を判定方式として設定し受験者が判定についても選択できるようにしている。上位から順位付けを行い合否判定を行っている。
一般選抜	【前期・中期・後期】 大学教育における必要な学力を評価するものとして個別学力試験を実施している。調査書は点数化せず参考資料として活用する。 【英国総合型】 総合記述問題とし、思考力・判断力・表現力を問うものとして多面的・総合的に評価する。	【前期・中期・後期】 標準型の判定として1科目100点満点とし受験科目に応じて上位から順位付けを行い合否判定を行っている。また、標準型判定に加え、高得点型を判定方式として設定し受験者が判定についても選択できるようにしている。上位から順位付けを行い合否判定を行っている。 【英国総合型】 記述式総合問題として100点満点の上位から順位付けを行い合否判定をする。
共通テスト利用入試	【前期・中期】 大学入学共通テストの成績を用いて学力を評価する。調査書は点数化せず、参考資料として活用する。 【後期(面接併用型)】 大学入学共通テストの成績とWeb面接試験により総合的に判定をする。大学教育を受けるために必要な知識、技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する。	【前期・中期】 本学が指定する大学入学共通テスト科目の上位合計点により順位付けを行い合否判定をする。 【後期(面接併用型)】 本学が指定する大学入学共通テスト科目上位2科目の得点200点満点と面接点100点満点の合計により順位付けを行い合否判定をする。

帝塚山学院大学大学院入試_合否判定の方法や基準について

	採点基準	合否判定基準
大学院Ⅰ期一般入試 大学院Ⅱ期一般入試	大学院の課程を履修するにふさわしい知識と能力、素質等が適切に評価できるよう、以下のとおり入学者選抜を実施している。 【人間科学研究科 人間科学専攻】 ①外国語（英語）の筆記試験成績ならびに専門に関する論述試験を通じて大学院課程を履修するための必要な知識と能力を測る。 ②面接試験では、出願書類として提出している「研究計画書」をもとに専門分野の適性および知識、研究への意欲など評価するとともにアドミッション・ポリシーに沿う形での将来性を評価する。 【人間科学研究科 臨床心理学専攻】 ①外国語（英語）ならびに専門分野の筆記試験を通じて大学院専門職学位課程を履修するための必要な知識と能力を測る。 ②面接試験は、出願書類の「事前レポート」をもとに、専門分野の適性や知識、研究や心理臨床実践活動への意欲、専門職に必要なコミュニケーション能力など総合的な素質を評価する。	【人間科学研究科 人間科学専攻】 外国語（英語）の筆記試験の成績100点、専門に関する論述試験の成績100点、面接試験20点の合計220点満点で上位から順位付けを行い合否を判定。 【人間科学研究科 臨床心理学専攻】 外国語（英語）の筆記試験の成績100点、専門分野の筆記試験の成績200点の300点満点で上位から順位付けを行い、面接試験結果を加味して合否を判定する。筆記試験、面接試験、事前レポートを総合し、本専攻のカリキュラムを十分に遂行できる基礎学力、能力が認められない場合には、定員内であっても不合格とすることがある。
大学院Ⅰ期社会人入試 大学院Ⅱ期社会人入試	大学院の課程を履修するにふさわしい知識と能力、素質等が適切に評価できるよう、以下のとおり入学者選抜を実施している。 【人間科学研究科 臨床心理学専攻】 ①専門分野の筆記試験を通じて大学院専門職学位課程を履修するための必要な知識と能力を測る。 ②面接試験は、出願書類の「事前レポート」をもとに、専門分野の適性や知識、研究や心理臨床実践活動への意欲、専門職に必要なコミュニケーション能力など総合的な素質を評価する。	【人間科学研究科 臨床心理学専攻】 専門分野の筆記試験の成績200点満点で上位から順位付けを行い、面接試験結果を加味して合否を判定する。筆記試験、面接試験、事前レポートを総合し、本専攻のカリキュラムを十分に遂行できる基礎学力、能力が認められない場合には、定員内であっても不合格とすることがある。